

2015 明治安田生命 J2 リーグ
第 15 節

vs. 大宮アルディージャ

5/24 19:00 kick off

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

2015J2

■順位表■第 14 節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	磐田	29p	+10	23	13
2	千葉	28p	+13	22	9
3	金沢	28p	+12	20	8 H●
4	大宮	28p	+9	18	9
5	福岡	27p	+6	19	13 A△
6	長崎	25p	+8	20	12 HO
7	札幌	23p	+6	17	11
8	C大阪	21p	+8	25	17 H●
9	愛媛	20p	-1	15	16 HO
10	横浜FC	20p	-2	16	18
11	岡山	18p	+4	14	10 A●
12	東京V	18p	0	14	14 A●
13	讃岐	16p	-3	8	11 HO
14	栃木	15p	-5	11	16 H●
15	北九州	15p	-8	14	22 A●
16	徳島	14p	-5	9	14 A●
17	群馬	14p	-5	10	19
18	岐阜	14p	-11	15	26 --- ---
19	水戸	12p	-5	11	16
20	京都	12p	-9	14	23 H△
21	大分	11p	-6	13	19 A●
22	熊本	11p	-12	11	23 AO

次回HomeGame

第16節 vs.水戸ホーリーホック

5/31 (日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23

tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心 癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町 3 丁目(木ノ本公園東)

today's guest : 大宮アルディージャ

2014 J1 9勝8分17敗 勝ち点35:16位

直近の対決と結果

公式戦初対戦

ここ 3 試合の公式戦の結果

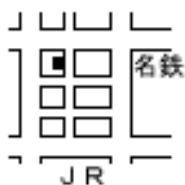
FC岐阜	大宮アルディージャ
2015/05/17 J2-14節@水前寺 熊本 1-2 岐阜	2015/05/17 J2-14節@NACK 大宮 1-1 磐田
2015/05/10 J2-13節@長良川 岐阜 2-1 愛媛	2015/05/09 J2-13節@正田スタ 群馬 0-2 大宮
2015/05/06 J2-12節@長良川 岐阜 1-1 京都	2015/05/06 J2-12節@NACK 大宮 2-0 北九州

大宮アルディージャ:

1969(昭和44)年創設の「電電関東サッカー部」が母体。電電公社の民営化に伴い、1985(昭和60)年から「NTT関東サッカー部」となる。1986(昭和61)年の地域決勝では初の「1次・決勝ラウンドともに全勝」でJSL昇格。Jリーグ発足後もアマチュア・クラブとしてJFLで活動していたが、J2発足に伴いプロクラブ「大宮アルディージャ」となる(アルディージャとはスペイン語でのリス(Ardilla)より。スペイン語ではIlaは「ジャ」と発音する(例:Sevilla=セビージャ)が、日本には馴染みがないので「Ardija」としている。同じスペイン語を語源のJ3・グルージャ盛岡は「Grulla」)。2004年のJ2で2位となりJ1昇格。昇格後は毎年2桁順位と低迷するも最後はキッチリ残留を果たすのでアルディージャのグッズは『落ちない』お守りとして受験生に人気だったが、2014年について16位となりJ2降格。(吉田鑄造)

●GW 5連戦の最後となる5/10(日)第13節・ホームでの愛媛戦では、苦しみながらも2-1で勝利を納めたFC岐阜。恩田聖敬社長の誕生日だったこの試合、難病ALSと闘う社長に捧げる勝利であったと同時に、最下位脱出(→21位)を決める大事な勝利になった。そしてまた、15日間でのGW 5連戦を2勝2分1敗と勝ち越すことにもなった。その直前には6連敗で苦しんできた選手たちも、この結果に少しずつチームとしての手応えを感じているだろう。そして1週間が空いて臨んだ5/17(日)第14節・アウェイでの一戦でも、「J昇格同期」熊本(20位)との対戦を見事に逆転(2-1)で制した。昨年8/3(日)以来のアウェイでの勝利(長崎:2-0)そして同じく8/10(日)以来の貴重な連勝(愛媛FC:4-3)となった。この連勝の効果は非常に大きく、順位も18位に上昇し残留争いから(わずかではあるが)抜け出すことができた。2015年シーズンの3分の1を終えての戦績は勝ち点14(4勝2分8敗)。同時点での昨年(勝ち点17)よりは少ないが、2013年(勝ち点7)2012年(勝ち点9)と比べれば多く、その意味でも連勝は大きい。現在の順位は、上は勝ち点3差以内に讃岐(13位)、6差以内に愛媛(9位)がいるという状況だが、しかし最下位(熊本)も勝ち点3差に入っており、まだ安心はできない。現在のJ2は大混戦だ。今後も油断せず、目の前の1試合を大事に戦って勝ち点を積み上げていく作業が求められることだろう。

さて、今節の対戦相手は現在4位の大宮アルディージャ。4位と言っても、勝ち点1差で1位(磐田)を追っている(つまり優勝争いをしている)チームであり、昨年まで10年間J1に在籍したクラブの実力は本物だ。チームの中心人物は、何と言っても#41 家長昭博。かつて「天才」の名を欲しいままにしてきた選手で、彼がケガから復帰して7試合、チームは無敗(5勝2分)と調子を上げてきている。その他にも、4得点を挙げている#8 ムルジャなど実力のある選手が揃っている。また直近7試合で2失点、合計でもリーグ2位タイ(8失点)と、#1 GK加藤順大が率いる堅固な守備陣が大宮の特徴だ。この守備陣を(現在得点ランキング2位タイの)#24 難波宏明など岐阜の攻撃陣が崩し、ホームスタジアム・長良川を沸かすシーンには是非とも期待したい。今節は#2 阿部正紀と#15 へニキの主力2名が累積警告で出場停止だが、一方で怪我が徐々に復帰してきているのは朗報だ。強豪大宮相手にラモス監督の采配は注目だし、起用された選手にはスタメンの座を脅かす勢いで活躍を期待したい。特に、2010~2012年に大宮に在籍した#4 深谷友基は燃えているだろう。大宮を相手に厳しい試合展開が想定されるが、(2009年以来2回目となる)3連勝を目指したい。3連勝できれば、チームには本当に大きな自信となる。90分間、チーム一丸そしてスタジアム一体となって、最後まで戦おう。(ささたく)



「いらっやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。

休:月曜日

投稿募集!!

gidaidohri@
hotmail.co.jp

【第13節】岐阜2-1愛媛

●どんな試合だって、目の前の試合を「負けていいや」って思うことはない。どんな強い相手との試合でも、やっぱり「勝ちたい」って思うのがサポの（そして選手の）習性です。でも、それでも、（残留が懸かった試合を除けば）ここまで「勝ちたい」って思って臨んだ試合は、（Jリーグ時代には）僕には無かったかもしれない。恩田聖敬社長の誕生日。難病・ALS（筋萎縮性側索硬化症）と闘いながらクラブのため、地元岐阜のために奮闘する若き社長に勝利のプレゼントを贈りたい。その勝利が、社長の特効薬になると信じたい。そんな気持ちは、みんなが持っていたのだと思う。恩田社長の誕生日を祝う“サプライズ企画”も、スタジアムに来られた（愛媛サポも含めて）皆さんの協力で無事に終了。協力していただいた皆様と、この企画実現に奔走した多くの岐阜サポに、心からの感謝と敬意を送りたいと思います。ありがとう。

そして、そういう気持ちは選手たちも当然に持ってましたね。#20岡根がバシバシ身体を叩いて気合いを入れてたので、すぐ判りました。それが現れてたのか、それとも愛媛の選手が雰囲気飲まれてたのかな？いきなり最初のチャンスで#24難波宏明が先制ゴール！ちょっと不思議なのが、どうして記録では「前半2分」なのかな？録画を見ても決まったのは1分以内だから、「前半1分」と記録するんだと思うんだけど。#6高地→#33レオの追加点で、前半に2点のリードを奪っても、僕の周りの岐阜サポは、ほとんど「俺たちにセイフティリードはない」とばかりに（苦笑）、全く油断してなくて。まあ愛媛にヤバイ決定機を作られてたってのも理由の一つですが、少し前に（後はお察し下さい）。なので、愛媛の#18西田剛に失点を許した時も、少しも動揺せずに「次だ！」と立ち直るという異例の事態に（苦笑）。4連勝してた時の愛媛は、#18西田剛、#10瀬沼優司そして#20河原和寿の3トップが機能していたと僕は感じていて、連戦の影響か西田を途中投入した後半から苦しくなるとは覚悟していた。耐える時間は本当に長かった。でも耐えられた。試合終了の笛と同時に、それまで我慢していた感情が爆発した。吼えた。勝てて、本当に良かった。

試合後、恩田社長が寒い中、最後まで僕ら岐阜サポを見送りに出てくれた。嬉しくて、（普段やらないんだけど）恩田社長と記念写真を撮った。苦しかったけれど、それだけ得た喜びも大きい1試合になった。（ささたく）

●FC岐阜史上最速、少なくともJリーグ参入後では一番早い、まさに電光石火の難波のヘッド！休養明けのスタメンで即座に結果を出してくれる。こういうところが信頼感というか、惚れてしまうところだよなあ。この辺りをしっかり、くつきり目に焼き付けておくように……と、若い選手に伝えたい。それはともかく、応援しているこちらにも俄然勇気づけられた値千金のゴールだった。今季こそ、得点王取っちゃってください。難波サン。

とはいえ、試合全体を通して、良質のサッカーをしたのは愛媛の方。さすがに上位にランクするのもうなずける内容。ピッチをワイドにを使って全員が良く走り、意図を持ってボールを動かして好機の芽を作っていた。そんな気がする。そして、それにアクセントをつけるというか、連動の軸となっていたのがせぬーとえなり。10番・瀬沼、20番・河原の両選手。特に河原は前目に位置しながら、時折中盤に降りてボールを捌き、ゆっくり歩くような感じで味方の動きを見ながら、瞬間にギアを上げてゴール前の危険な位置に侵入してくる。それも、まっすぐに、ではなく、斜めに走り込んでくる感じに見えた。あれが、ダイアゴナル・ランというヤツなのかな？その彼ら2人が、どういうワケだか、決定機を外し続けてくれたのも勝因のひとつと言えるかもしれない。先制後、そして追加点を取る直前。それ以外も含めて、二人で4～5回決

定機を外してくれたような気がする。正直助かった。ただ、得点決められたのが西田剛。彼には福岡に在籍してた時も決められたような気がするけど思い違いかな？

それでも、未だ無得点継続中のニンスタを始め、ずっと対戦成績のよくなかった愛媛相手に、ここ数戦はそれなりの結果が出せているのは、なぜだろう？やっぱり、愛媛の監督がアノ方だったからなのか？木山さんとは、水戸の時も千葉の時も相性がいいような気がする。気のせいかしらん（笑）。この流れに乗って、今季のニンスタでは是が非でもゴールをこじ開けたいもんだ……と思ったが、それはまだ半年近くも先の話だった。楽しみにしていよう。

あ、大事なことを忘れていた。あんな、いいクロス出せるんだったら、出し惜しみしないで、大売出ししちゃっていいんだよ？阿部ちゃん！あのクロスじゃなかったら得点は入らなかったと思う。それと、ゴールこそ決まらなかったものの、ヘニキのミドルを演出した野垣内のマイナスのグラウンダー。ああいうのが出せれば、ゴールがどんどん増えるハズ。もっと、もっとボクらを興奮させてほしいな。期待してます！（ぐん、）

●基本的には愛媛の試合だったと思う。「せぬー」こと愛媛FW瀬沼には昨年の栃木在籍時代にもポストプレーに“ずるずるドリブル”にとやられた記憶（トラウマ？）があるので、一緒に観戦してた岐阜サポと「パパ、あれほしいー、あれ買ってえー」とダダっ状態（笑）。「えなりさん」こと愛媛FW河原は序盤はレジスタっぽい後ろ目のポジションから競艇の後方スタートのような加速をつけての突破を試みてきて、あれを徹底されたらスピードに難のあるウチのDFは破られていたかもしれない。2-0になってから圧力を上げるだろうけど彼を前線に張らせてくれたのは逆に助かった。

ウチは数少ないチャンスを確実にモノにするいつものサッカー。難波さんのゴールは公式記録では2分となってるけど、帰宅して録画で確かめたら0分58秒。いわゆる「秒殺」でした（笑）。愛媛の選手が試合に入りきれてない間にサクッと先制。高地の前線でのプレスからのショートカウンター、高地1人で愛媛DF3人を引っ張り出したもんね、あれをはずしたらレオミさんはしばらくスクール戻りだわ。でも、前半の早い時間で2-0になった時は、やっぱりどうしても『あの飛田給』を思い出してしまう（苦笑）。そしたら、仕事の関係で久しぶりに長良川に来たという古参サポが「得点を挙げてからの岐阜サポの“切り替え”が早くなっている。辛い思いをしてきたんだな」と的確なコメントをネットに書いてて、みんな同じなんだね、安心したよ（苦笑）。

まあ、クリーンシートで終わらせられる内容でもなかったし、ロドリゴは相変わらずずるずる下がって難波さんの1トップになっちゃうし、それでもずるずる下がったロドリゴがクリアして救われたシーンは何度もあったし。さすがに『塹壕戦』をモノにしたとまでは言えないけど、『塹壕を掘って守る』サッカーで勝ち点3を得るといふ部分は出来るようになってきたんじゃないかな？と思う。

これでGW5連戦を2勝2分1敗と、ホームが3試合あったとはいえ上出来の結果に。それでこの順位なんだからいままでどんだけだったんだよ（苦笑）ということでもあるんだけど、ラップの歌にもあるように「振り向くな、後ろに未来はない」。これからも前を向いていきましょう。

（吉田鑄造）

【第14節】熊本1-2 岐阜

●2008年の「J昇格同期」対決、かつ現在の「残留争い」直接対決となる熊本との「裏・天王山」。いわゆる“負けられない”どころか“勝たなければならない”“勝ち点6が懸かった”一戦。しかし試合開始前から暑かった…。日陰は涼しいんだけど、日向はジリジリと暑くて。そして、直射日光と少し強い向かい風が当たる岐阜のゴール裏。それに…何じゃこの芝は！？ってピッチ。かつてのメドウでもこんなに酷くなかったと思うんだけど、半分ほどが綺麗に禿げちゃって、こりゃあ、いろんな意味で厳しい戦いになるなあと覚悟して臨んだ一戦。試合前半は、慣れない（慣れて欲しくはないけど（苦笑））デコボコのピッチコンディション&向かい風に対応した戦術なのか、ロングボール&ヘディングを多用した空中戦が主体の両チーム。一進一退の攻防…と言えばいいのかな、中盤でのボールの競り合い（放り込み合い？）がひたすら続くような、そんな緊迫した時間を過ごして前半終了。

さて、後半もしっかり…と思った矢先、あれあれあれっ？っと思ってる間に失点。録画で確認したら、DF陣の間をスルスルと抜かれて、バランス崩されての失点なのね。あれは良くない…しっかりと反省してほしい。でも、「失点直後の得点」、これは素晴らしい！逆は何度でも経験してるんだけど（苦笑）。#6 高地の美しい軌道でのFKに、飛び込んだ#20 岡根のヘディングシュートがサイドネットに突き刺さった時の嬉しさといったら！だって今年のFC岐阜、後半（つまり僕ら岐阜サポの目の前で）ゴール決めたのって、アウェイ九州での4試合（大分、福岡、北九州そして熊本）だけなんですよ？そして僕は今年初の九州遠征…やっ、目の前でゴールを見られました（笑）。まるで「遠征に来ないとゴールは目の前で見せてあげないよ？」って言われてるようです（苦笑）。岡根も失点のミスで帳消しにする値千金のヘッド、まさにゴラッソでした。でも…まだ同点だったからかな、こっちに駆けてきてくれなかったのは少し残念。意外とシャイなのかしら（笑）。そして#7 ロドリゴを投入して高地が下がったことで、岐阜の優勢になっていった。難波のPKの前にも惜しいシーンが…#19 益山、あれは（少なくとも）枠に飛ばして欲しかった…まあ、あのダイレクトボレーがネットに突き刺さっていたら、僕ら現地組は壊れちゃってたかもしれないけど（苦笑）。あと、難波のPK獲得は、その前に#33 レオが同様にオーバーヘッドした布石があったからだと思う。今日もガンガン前線でボールを追って走ってくれたし、これからも期待したいね！

静まり返るアウェイで、勝利の歓喜に沸く瞬間。これも堪らない時間です。充実した結果となった熊本遠征。熊本はスタジアムグルメも充実してるし、馬刺しを筆頭に地元の名物も楽しめるし、個人的には（札幌は勝たせてくれないので減点（笑））オススメの遠征先です。飛行機代が…と思われる方は、早割を予約する、クレジットカードでマイルを貯めるなど、いろいろ工夫ができます。来年に向けて是非ご検討くださいませ（笑）。（ささたく）

●ホント、現地参戦を諦めての大分戦に続くスカパー！観戦だったけど、今季アウェイ初勝利の場にいらなくて残念。ものすごく残念！悔しい！！しかし、こういう悔しさなら大歓迎だよ（笑）。

それにしても、前半がスゴかった。双方ともロングボール一辺倒。いや～、見事なまでに徹してたね。ロングボール主体なんてもんじゃなかった。ある意味、実に潔く戦術を貫いたという気がする。でも、あのピッチなら仕方ないかな。ただ、前節同様ペースを握ったのは相手チーム。熊本の方が好機を演出していたと思う。たぶん、やってる選手もベンチもそのうち何とかできると思っていたんじゃないだろうか？そして、それは後半開始早々にいきなり実現してしまう。ボールカッ

トからドリブルかまされ、サクッと抜かれて失点した時はどうなることか、と。しかも、ゴール前で股抜きされ、交わされ、転ばされての失点だったんでTVの前で思わず顔を覆ってしまった。確かに斉藤のドリブルはキレたけど、たった一人にこじあげられてはDFとしては恥ずかしいよね？

だけど、そのあと間髪を入れず、って感じで追いついたのが大きかったね。今季は、というか今季も「取ったら、すぐ取り返される」という気前の良さのみ発揮していたんだけど、ようやくお返しができるワケだ。それが、勝ち点6を争うにも等しい直接対決でやってのけたのが素晴らしい。岡根の同点弾は特別競り合った様子もなく、スルッとねけだしのダイビング・ヘッド。迫力満点だった。シーズン前、観戦仲間に他サポさんから届けられた岡根の取説は「デカイ！以上」だったらしいが、もうそんなことは言わせねえ（笑）。「足元がウマくなれば、代表にだって……」とは監督の弁だが、ぜひともそういう夢を見させてほしいな。ただ、そのあとの展開は前半同様熊本のペース。巻が2回ほど決定機を外してくれたのもラッキーだった。難波のオーバーヘッドは枠を捉えていたかどうかはわかりづらかったが、相手DFの両手は、バレーボールのブロックみたいになってたから一発退場でもおかしくなかった。しかし、「PKは苦手」とか言ってたのがウソみたいに、あっさり決めてくれたのも素晴らしい。14試合で8得点。シュートを撃てば決まる。そんな期待を抱かせてくれるナンちゃんは間違いなくウチのエース・ストライカー。次節以降も厳しい試合が続くけど、勝利を勝ち取るゴールをどしどし決めていってほしいね！

それにしても、ウチはケガ人も多いがカードも多い。次節はヘニキと阿部ちゃんが累積か。まあ、和道が早くも戻ってきてくれたのはありがたいし、ヘニキのいない中盤の連動を楽しむという気持ちで、初顔合わせの大宮戦に臨むとしますか。（ぐん）

【ユース】クラブユース選手権、1次リーグ突破！

●我らがFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）は5月9日（土）にG1リーグの第3節郡上高校戦を戦いました。開幕戦から2連敗しているチーム同士の対戦でしたが、結果は2対2での引分け。これで0勝1分2敗の勝点1で（得失点差の関係で）10チーム中7位となっています。G1リーグはインターハイの県予選の為に中休み期間中であり、次戦は6月13日（土）の第4節各務原高校戦となります。

一方のクラブユース選手権の1次リーグの最終戦である愛知FC戦が5月10日（日）に行われました。結果は1対0で愛知FCに勝利！！これで1次リーグを2勝1分で1位通過しました！（ヤッター！！）クラブユース選手権はこの後5月24日～6月7日までPPリーグが開催されます。PPリーグは名古屋、磐田、清水、JFAアカデミーの4チームによるリーグ戦で、1位チームはそのまま全国大会出場決定。2位チームと3位チームが1次リーグを通過したFC岐阜ユース・愛知FCと対戦し、勝ったチームが全国大会に出場となります。試合は6月14日に磐田市のゆめりあサッカー場にて開催予定です。行くぞ～！全国！！

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！（シュナ）

